

事務事業名		起農支援プロジェクト（インキュベーション）事業費		目標設定日	令和2年3月1日
総合 計画 体系	基本政策	3	にぎわいと活力あふれるまちづくり	部・局	経済部
	政策	03	農林業の振興	課・室	農政課
	施策	04	担い手の確保と経営安定化	係	農政係
予算 体系	会計	一般会計		内線電話	250
	款	6款	農林水産業費	実施計画	
	項	1項	農業費	計上	
	目	2目	農業総務費	実施期間	
				令和2年度	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	都市圏の起業又は就農に意欲ある者	地域おこし協力隊員を経験し、退任後の起業又は就農を促進する。	
	田舎暮らしを希望する者	地域農業の担い手として将来的には、農業従事者や農業法人への就職など移住定住を促進する。	
現状・課題	新規就農者は、果樹を中心に農業後継者として就農する者が多い傾向にある。また、Iターンで就農する新規就農者は、ここ数年で1人～2人程度にとどまっている。		
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	地域農業の担い手の確保、移住定住人口の増加、中山間地の遊休荒廃農地解消などを図るため。	
事務事業概要	起業又は就農に意欲ある者、田舎暮らし希望者を対象に地域おこし協力隊員を募集し、隊員の様々な活動を通じて、将来的な起業・就農等により移住定住の促進を図るなど。		
令和2年度の活動指標 アウトプット	活動内容		活動量
	インキュベーションセンター設立準備（事例調査等）		4回
	募集活動		3回

事務 イン 事業 プ ッ ス ト	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算		円		
補正・流用等		円			—	
合計		円	0	0	298,000	
決算（見込）額 A			円			—
財源内訳	国庫支出金		円			
	県支出金		円			
	市債		円			
	その他特定財源		円			
R2は予算額	一般財源		円	0	0	298,000
正規職員数			人			0.30
人件費 B			円	0	0	1,932,600
総事業費 A+B			円	0	0	2,230,600
市民1人当たりコスト			円	0	0	53

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
インキュベーションセンター設立		作成	目標	—	—	1	件	
			成果	—	—	—		
			目標					
			成果			—		
成果指標と目標値を設定した理由	インキュベーションセンターを設立し、農業技術の取得や経営学など支援するため。							

令和2年度の実施方針	重点的に実施	活動量	増やす	コスト	上げる	成果	上げる
	令和3年度にインキュベーションセンターを設置し、運用開始予定であるため事例調査等を進めていく。						

